

**製品名: Ah 受容体 (リン酸化 Ser36) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04205**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	75 or 96kDa

**抗原情報**

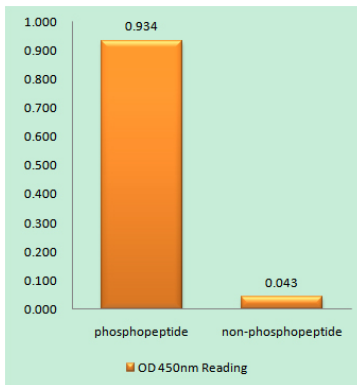
遺伝子名	AHR
別名	AHR; BHLHE76; Aryl hydrocarbon receptor; Ah receptor; AhR; Class E basic helix-loop-helix protein 76; bHLHe76; AHRR; BHLHE77; KIAA1234; Aryl hydrocarbon receptor repressor; AhR repressor; AhRR; Class E basic helix-loop-helix protein 77; bHL
遺伝子 ID	196/57491
SwissProt ID	P35869/A9YTQ3
免疫原	抗血清は、Ser36 のリン酸化部位周辺のヒト AhR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 2-51

## 背景

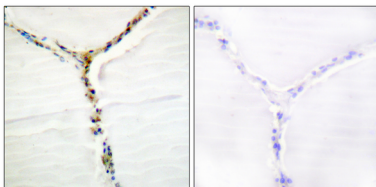
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、平面芳香族炭化水素に対する生物学的応答の調節に関与するリガンド活性化ヘリックス-ループ-ヘリックス転写因子である。この受容体は、シトクロム P450 などの生体異物代謝酵素を制御することがわかっている。リガンドが結合する前は、コードされているタンパク質は細胞質内に隔離されている。リガンドが結合すると、このタンパク質は核に移動し、標的遺伝子の転写を刺激する。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]、機能: リガンド活性化転写活性化因子。活性化する遺伝子の XRE プロモーター領域に結合します。複数のフェーズ I およびフェーズ II の生体異物化学代謝酵素遺伝子 (CYP1A1 遺伝子など) の発現を活性化します。ハロゲン化芳香族炭化水素の生化学的および毒性効果を媒介します。細胞周期の調節に関与しています。多くの組織の発達と成熟において重要な役割を果たしていると考えられます。誘導: 細胞タイプ特異的に TGF- $\beta$  およびダイオキシンによって誘導または抑制されます。cAMP、レチノイン酸、および TPA によって抑制されます。類似性: 1つの基本ヘリックス-ループ-ヘリックス (bHLH) ドメインを含みます。類似性: 1つの PAC (PAS 関連 C 末端) ドメインを含みます。類似性: 2つの PAS (PER-ARNT-SIM) ドメインを含みます。細胞内局在: 最初は細胞質内ですが、リガンドと結合し、HSP90 と相互作用すると、核に移行します。サブユニット: MYBBP1A に結合します (類似性による)。効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要です。核内では、AHR と ARNT のヘテロ二量体です。SRC-1、RIP140、NOCA7 などのコアクチベーター、およびコリプレッサー SMRT と相互作用します。NEDD8 および IVNS1ABP と相互作用します。組織特異性: 血液、脳、心臓、腎臓、肝臓、肺、膵臓、骨格筋を含む、試験したすべての組織で発現します。、

## 研究分野

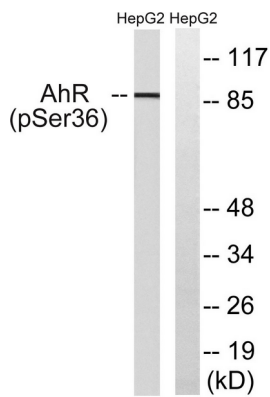
## 画像データ



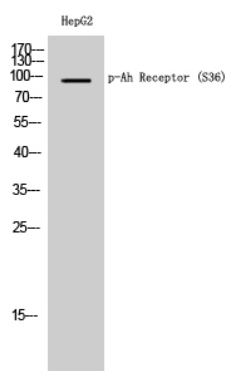
リン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の AhR (リン酸化 Ser36) 抗体を用いた酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



パラフィン包埋ヒト甲状腺の AhR (リン酸化 Ser36) 抗体を用いた免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



AhR (リン酸化 Ser36) 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロックされている。



ホスホ Ah 受容体 (S36) ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析